

課程修了までの主な流れ

＜前期２年の課程＞			
	学	期	教
	生	限	員
		等	
アドバイザー決定		3月上旬候補者推薦書提出 3月教務委員会で決定	入試時の研究計画書及び面接を参考に講座会議で検討し、講座代表者が3月上旬でにアドバイザー候補者を推薦書（様式 修－Ⅲ－1－(2)）に記載し教務係へ提出する。
アドバイザー名発表		4月オリエンテーション	
履修届の提出(M1)	アドバイザーの指導を受けること。	4月中旬（1学期）	アドバイザーは、課程修了に必要な授業科目を適切に履修するように指導する。
研究指導計画の策定・確認	主指導教員予定者が作成した「研究指導計画書」を受領・確認し、署名した上で提出する。	5月末日教務係	主指導教員予定者は、学生と協議の上、研究指導計画を策定し、5月末日までに「研究指導計画書」（教務委員会が別に定める様式）によって学生に明示する。
研究題目・指導教員の申請	アドバイザーの指導を受けること。 指導教員予定者全員の承認を得ること。 （様式修－Ⅲ－3－(2)－①）	6月末日	アドバイザーは学生の研究題目・指導教員選定に対して指導・助言する。 主指導教員・副指導教員（1～2名）予定者は「研究題目届」（様式修－Ⅲ－3－(2)－①）を確認する。
		7月教務委員会	研究題目及び指導教員の決定
研究題目発表会	レジュメ（A4判2枚）提出 （様式修－Ⅲ－3－(4)） 一人10分質疑応答5分	7月下旬	
	〈研究題目を変更する場合〉 指導教員全員の承認を得て研究科長に「研究題目変更届」（様式修－Ⅲ－3－(2)－②）を提出し、直近の教務委員会で承認を得なければならない。		「研究題目変更届」（様式修－Ⅲ－3－(2)－②）を指導教員全員が確認する。
	〈指導教員を変更する場合〉 主指導教員若しくは主指導教員予定者が「指導教員変更届」（様式修－Ⅲ－3－(3)）を新たに指導教員となる者全員の承認を得て研究科長に提出し、直近の教務委員会で承認を得なければならない。		「指導教員変更届」（様式修－Ⅲ－3－(3)）を新主指導教員が提出する。
履修届の提出(M1)	指導教員の履修指導を受けること。	10月中旬（2学期）	履修指導
		2月末日教務係	研究指導記録提出（主指導教員）
履修届の提出(M2)	指導教員の履修指導を受けること。	4月中旬（1学期）	履修指導
研究指導計画の策定・確認	主指導教員が作成した「研究指導計画書」を受領・確認し、署名した上で提出する。	5月末日教務係	2年次の「研究指導計画書」を、5月末日までに学生に明示する。
論文作成計画書	論文作成計画書提出	5月末日教務係	
修士論文仮題目届	〈論文題目の決定〉 「修士論文仮題目届」（様式修－Ⅲ－3－(6)－①）提出	6月末日	指導の重点を論文作成指導に移行 「修士論文仮題目届」（様式修－Ⅲ－3－(6)－①）を指導教員全員が確認する。
	〈修士論文提出資格〉 1年以上在学し、20単位以上を修得し、かつ、必要な履修指導、研究活動指導、論文作成指導を受けた者	7月教務委員会	修士論文仮題目の決定
修士論文構想発表会	レジュメ（A4判2枚）提出 （様式修－Ⅲ－3－(4)） 一人10分質疑応答5分	7月下旬	
履修届の提出(M2)	指導教員の履修指導を受けること。	10月中旬（2学期）	履修指導
修士論文題目届	「修士論文題目届」（様式修－Ⅲ－3－(6)－②）提出	11月末日	「修士論文題目届」（様式修－Ⅲ－3－(6)－②）を指導教員全員が確認する。
		12月教務委員会	修士論文題目の 内定 論文審査委員の選出（審査委員は本研究科の教授、准教授又は講師の中から2人を含む3人以上。（内定時：「推薦書」様式修－V－1－①を講座代表者がとりまとめて教務係に提出）
修士論文提出	〈修士論文の要件〉 修士論文は広い視野に立って精深な学識を修得し、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を有することを証示するに足るものであること。 〈提出書類〉 正本（製本用）…1部（研究科保存） 副本（仮製本）…論文審査委員数部 論文内容要旨（A4判縦長・横書）4頁以内…正本、副本に添付	1月9日	
		1月教務委員会	論文審査委員の決定（決定時：「推薦書」様式修－V－1－②を講座代表者がとりまとめて教務係に提出する。） 論文審査及び最終試験委員を委嘱する場合には、講座代表者が当該者の履歴書及び業績表（著書または論文3点程度）を提出し、教務委員会の承認を得なければならない。
最終試験	〈正誤表〉 修士論文提出後、審査の過程で指摘された誤りのうち、文字の誤記や脱字、差別用語等にかかわる不適切な表現の修正に限り、正誤表を作成して論文末尾に追加できるが、主査が許容された範囲であるか否か確認する。	1月下旬	1月中に最終試験を実施する。 最終試験の日程及び会場は主査が決定し教務係に届け出る。
修士論文発表会	レジュメ（A4判2枚）提出 （様式修－Ⅲ－3－(4)） 一人10分質疑応答5分	1月下旬	
	〈論文の取り下げ〉 「論文審査及び最終試験成績報告書」提出以前の場合、論文を取り下げることができる。（様式修－X－1）	修士論文提出後から成績報告書提出以前	論文審査等報告 主査は論文審査、最終試験及び修士論文発表会の結果を「論文審査及び最終試験成績報告書」（様式修－Ⅶ－3）にとりまとめ、教務係に提出する。
		2月末日教務係	研究指導記録提出（主指導教員）
		3月初旬教授会	議決 教務委員長の報告に基づき3分の2以上の出席、3分の2以上の賛成をもって議決する。議決は挙手による。
修士学位の授与		3月学位記授与式	

- 指導教員とは、アドバイザー教員、主指導教員、副指導教員をいいます。
- アドバイザー教員は、入学時から主・副指導教員が決まるまでの間、学生一人に一人を配置します。
- 研究指導とは、履修指導、研究活動指導（研究題目に沿った研究のための支援及びそれに必要な教育指導とし、論文題目設定のための調査・研究活動の指導、学会発表・学会誌への論文投稿指導及び学会活動支援等を含めるものとする）、論文作成指導をいいます。
- 論文作成指導とは学位論文完成のために必要な具体的な執筆指導であり、おおむね論文題目届け出時から、論文完成時までの実践的指導を指します。
- 研究指導の方式は、①教員の間での研究交流や意見交換をベースに、学生の研究題目に即した個別具体的指導、②総合演習における講座教員チームによる総合的指導、③各種の研究・論文関連発表会における本研究科教員全員による全体的指導により行います。
- 長期履修制度適用及び修業年限短縮の学生にあつては「修士論文に関する申し合わせ」を参照してください。
- 9月に修了する場合は、申し合わせを参照してください。
- 日程については学年暦を参照してください。